

ごあいさつ

理事長 山本 樹

(令和5年6月26日就任)

当法人も、邑楽館林地区に45年前、障がい者施設を開所した当初は、さまざまなハンディキャップが一様に捉えられていました。現在は、一人ひとりの個性に合わせて設備と支援を提供していくことが求められています。そのためには、大規模な事業所ではなく、地域に根ざした小規模な事業所が望まれます。

当法人も、長期ビジョンとして複数の事業所を展開していくことを考えています。

最後に、今後とも地域の皆様ならびに行政の皆様の、より一層のご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。



読売『愛のあかぎ募金』 車両贈呈式

令和7年11月3日

「ホンダフリード」を
ご寄贈頂きました

陽光園

勤続6年 生活支援員
杉本 恵

『陽光園の良いところは？』と聞かれ、すぐに思いついたのは『手厚く個別性のある支援を行っている』ということです。陽光園は老若男女問わず、個性豊かな多くの方々にご利用いただいています。その人それぞれの個性や特性を観察しながら、安心して過ごせる環境調整を行い、今後の可能性を広げていけるような課題とスケジュールを立案し、支援提供を行っています。時にはお楽しみ企画も取り入れながら、陽光園に集う人みんなの笑顔溢れる日々を過ごしています。

毎日色々な出来事が起こり忙しい日々ですが、当たり前のことを当たり前積み上げ続けることができるのも陽光園の大きな強みであると思います。最後になりますが、ある利用者さんに「陽光園の良いところは？」とお聞きしたところ、少し間を置いた後に「手厚い支援」とニコッと笑いながら答えてくださいました。とても嬉しく、今後もそう思っただけのよう仕事に取り組んでいきたいと思いました。

